

福山駅前広場市民対話集会 報告

2025年（令和7年）9月9日

福山市 企画財政局 福山駅周辺再生推進部 福山駅周辺再生推進課

1. 開催概要

2. 意見のとりまとめ

- ・ 福山市が魅力的なまちとなるため、駅前広場がどんな空間になれば良いと思いますか？（黄色付箋）
- ・ 福山駅前広場の再整備について、よく分からない点やもう少し詳しく聞きたい点は？（ピンク付箋）

3. アンケート結果

- ・ 回答者の属性
- ・ 「市からの説明や質疑応答の内容が理解できたか（理解度）」
- ・ 「福山市が魅力的なまちとなるために、福山駅前広場を再整備することについて、どう思うか（共感度）」
- ・ 自由記述

4. 市民対話集会のとりまとめ

1. 開催概要

(1) 周知方法、開催方法

- ・市の公式のLINE（登録者約17万人）、フェイスブック、ホームページでの周知のほか、周辺の町内会や商店街への周知、各施設へのチラシ設置を行った。
- ・昼と夜の2回開催で、手話・要約筆記・キッズスペースを用意し、だれでも参加しやすいように配慮した。

(2) 目的

市民への周知や意見聴取が必要という協議会の意見も踏まえ、市民対話集会を開催することで、福山駅前広場再整備の目的や議論経過を丁寧に説明し、多様な意見をいただくことを目的として実施した。

(3) 参加人数 合計222人 取材した報道機関の数：11社（昼の部、夜の部）

【昼の部】 2025年8月9日（土）14時～16時 @広島県民文化センターふくやま 文化交流室
参加人数：131人（現地99人、オンライン32人）

【夜の部】 2025年8月9日（土）19時～21時 @まなびの館ローズコム 中会議室
参加人数： 91人（現地54人、オンライン37人）



対話集会の様子（昼の部）



対話集会の様子（夜の部）

2. 意見のとりまとめ

(1) 付箋による意見収集

グループでの意見交換にあたっては、参加者に付箋を配付し、次の2つについて記載をしてもらった。

その後、グループに分かれて意見交換を行った。

福山市が魅力的なまちとなるため、
駅前広場がどんな空間になれば良いと思いますか？

福山駅前広場の再整備について

- ・ よく分からない点は？
- ・ もう少し詳しく聞きたい点は？

2. 意見のとりまとめ

(2) 福山市が魅力的なまちとなるため、駅前広場がどんな空間になれば良いと思いますか？（概要）

当日、黄色付箋に記載してもらった内容を、次のとおり分類した。

人のための空間

市民の交流

- 市民のオープンスペースとして、健常者にとっても障がいのある人にとっても優しい場
- 市民が集い憩える空間
- こどもから大人、高齢者まで安心してのびのびと過ごせる空間

など

イベント・賑わい

- いつも誰かがいて、笑顔あふれるにぎわいのある空間
- こども、若者などが楽しく活動して、そのことで福山をより好きになる広場
- 定期的なイベントが開催できる空間

など

交通

交通結節機能

- 交通の機能が確保された空間
- 駅を利用する人だけではなく、車を使う人、自転車を使う人も利用しやすい空間
- 駅前広場の役割として大切なのは交通結節点でバスと鉄道の接続が大事

など

安全な移動

- 地上と地下空間を活用し、歩きやすく安全なウォークアブルエリアを確保
- 初めて福山に来た人々や日常利用者が雨に濡れずに公共交通にアクセスできる広場

など

現状維持

- 現状のままで十分
- 今のままの南口バスターミナルが良いと思う
- 道路もタクシーもバスターミナルも、今のままが良い

など

空間デザイン

快適な空間

- 夏や冬、雨の日でも集える場所
- 日陰や雨をしのげる大屋根やペDESTリアンデッキを設置し、全方向に安全に移動できる空間
- 大型モニター、音響、照明などが常設され、イベントができる広場

など

自然との調和

- 今日の気候変動を考えて広場には樹木を多く植える
- 木陰で憩える空間にする
- 緑に触れることができ、こどもから大人までリラックスできる空間

など

歴史や文化

福山城との連携

- 福山城のそばにあることを感じられるような空間構成やデザインがされた空間
- 新しいものと福山の歴史も感じられる

など

福山のシンボル

- 福山特有の文化や伝統をアピール出来る場にする
- 福山市を観光地として訪れた人々に対して心に残る空間

など

その他

- 災害時の避難場所、防災機能
- 安心、安全で、管理がしっかりされている空間
- 福山駅周辺の魅力的な情報が取得でき、このまちの産業などに見聞き触れられる

など

2. 意見のとりまとめ

(3) 福山駅前広場の再整備について、よく分からない点やもう少し詳しく聞きたい点は？（概要）

当日、ピンク付箋に記載してもらった内容を、次のとおり分類した。

交通

- 全面広場となったらバスターミナルはどうするのか？
- バスターミナルを北口に移すのは、南口方面のバスが多いので難しいのでは？
- バスターミナルを変えても交通処理に影響がない数値を示しては？
- バスやタクシーの乗り場は、足の不自由な人やお年寄りに使いやすいのか？
- 送迎場所はどうなるのか？
- 集う人の駐車場のスペースについてどのように考えているか？
- 公共交通機関の将来像との連動をどう考えているか？
など

駅周辺の再開発

- 伏見町の再開発を見すえて検討しているのか？
- 伏見町にバスターミナルを作れば北口も広場に来れると思うが、伏見町の再開発はないのか？
- 伏見町エリアに点在している駐車場を大きくひとつにすれば良いと思うが、無理か？
など

事業費

- 全体の予算はどの程度を考えているのか？
- 総工事費はいくらか？
など

市民意見

- アンケートは利用者だけではなく幅広く行ったほうがよいのではないかと？
- 一般市民に広める努力はして来たのか？
など

事業目的

- 何を目的とした整備なのか？
- 目的は福山市民のためか、旅行者の集客か？
- 全面広場になぜこだわるのか。一部で良いのでは？
- やっと使い慣れてきた駅前。たびたび変える必要があるのか？
- 福山らしさとは？
など

事業の進め方

- これまでどう議論されてきたのか？
- 北口へのバスターミナルを見送るのならどうやって大きな広場を駅前に整備するのか？
- ペDESTリアンデッキについては検討されたのか？
- 完成はいつなのか？
など

その他

- なぜ北口に広場をつくらないのか？
- 全国の駅前の整備、どのような変化があったか？
- 天候や気候の影響はどう考えていくのか？
- 安全な空間の対策は？
- 想定しうるデメリットは？
- 歴史や文化はどう表現するのか？
- ゴミとかが増えると思うが、どうするのか？対策とかあるのか？
- 災害時の避難場所として使用出来るのでしょうか？
- バス、タクシーの実証実験の結果は？
など

2. 意見のとりまとめ

(4) 全体での意見交換の内容

「全体で意見交換（質疑応答）」の部では、グループで出た質問を1つずつ発表し、その後参加者からも発表してもらった。多くの質問が出され、それぞれ回答した。

質問と回答（一部）

Q. バスターミナルをどうするのか

A. 北口へのバスターミナル配置は当面見送ることとしています。協議会や市民対話集会の意見も踏まえて、代案を考えていきたいと思います。現在の計画（今、示しているバスターミナルを北口広場に配置するたたき台の計画）は、現況の交通量を確認し、計画の交通を加味して、渋滞が起こらないことを確認しています。計画が変わった場合においても、交通処理を確認しながら進めていきたいと考えています。

Q. 福山らしさはどう考えているのか

A. 2023年3月に策定した福山駅前広場整備基本方針において、福山らしさをしっかり表現していくこととしています。ハード面として、福山城の城郭の中に駅があることやばらを表現していきたいと考えています。ソフト面として、地域の魅力や産業などの情報を発信できる場にするを考えています。

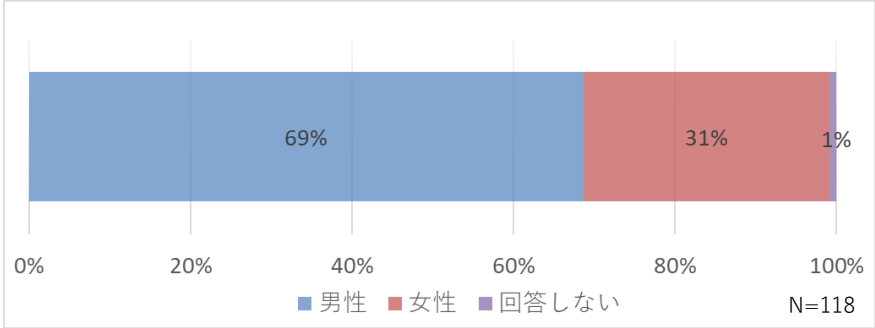
Q. 広場にどのように人を集めるのか

A. 広場を造るだけで人が来るとは考えていません。福山駅前再生ビジョンや福山駅周辺デザイン計画を策定し、駅周辺の4つのエリアで、官民が様々な取組を進めることでにぎわいを取り戻すこととしています。例えば、伏見町であれば、リノベーションまちづくり。三之丸町であれば、ニューキャスパのオープンやエフピコRiMの再生。中央公園ではパークPFIによるカフェの整備。そして、それらの中心に位置する駅前広場でエリア間を繋ぎ、さらに回遊性を増していきたいと考えています。駅前広場が起点となって、駅周辺を活性化させていき、相乗効果で人が集まってくる。駅前広場そのものにも魅力を持たせ、周辺エリアに人を流していきたいと考えています。

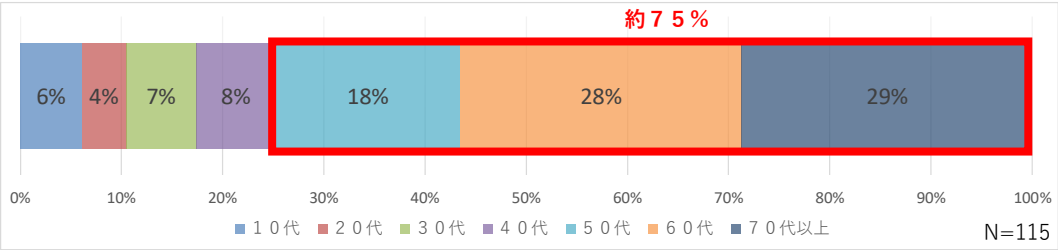
3. アンケート結果

市民対話集会の参加者 118 人に回答していただいた。
※現地参加 153 人のうち 105 人（回答率 68%）、オンライン参加 69 人のうち 13 人（回答率 18%）が回答

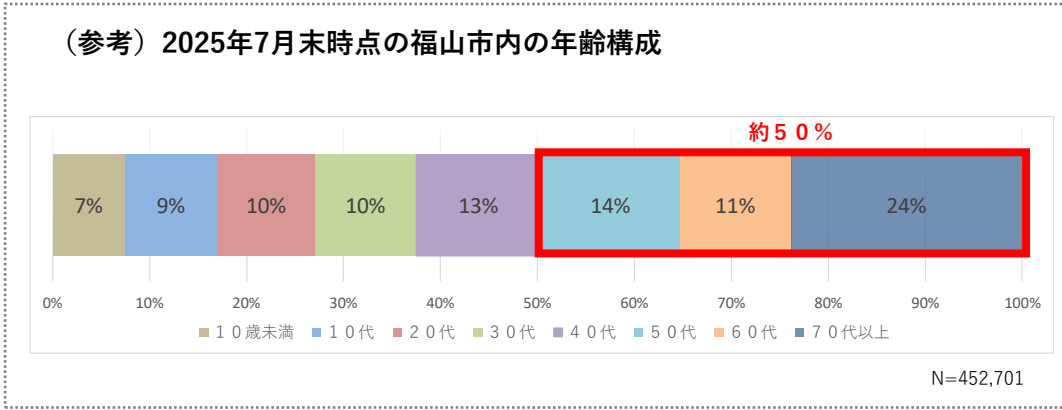
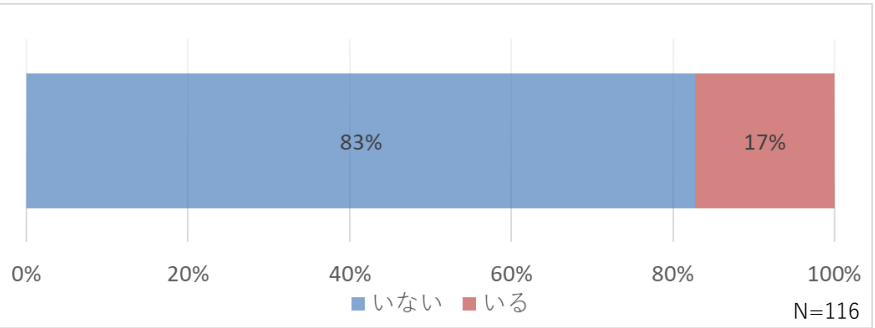
Q1. 性別



Q2. 年齢



Q3. あなた自身に18歳未満のこどもはいますか？

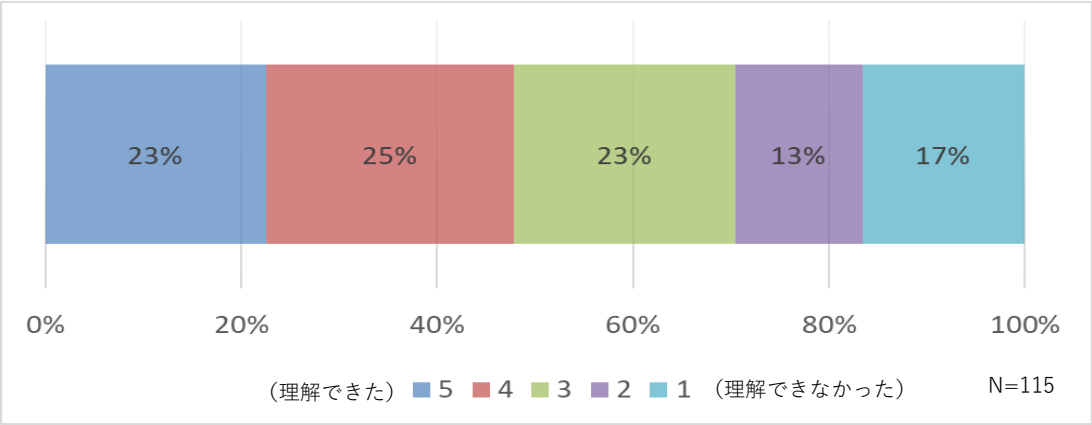


- 回答者の性別は、男性が約 7 割、女性が約 3 割だった。
- 回答者の年齢は、50代以上が 75%、40代以下が 25% だった。
- 回答者に 18 歳未満のこどもがいるかについては、「いない」が約 8 割、「いる」が約 2 割だった。

3. アンケート結果

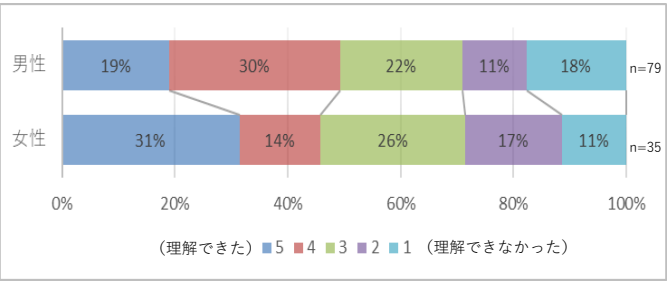
Q 4 .市からの説明や質疑応答の内容が理解できたか＝「理解度」

単純集計

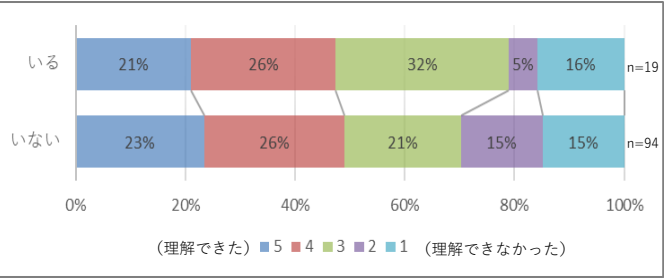


クロス集計

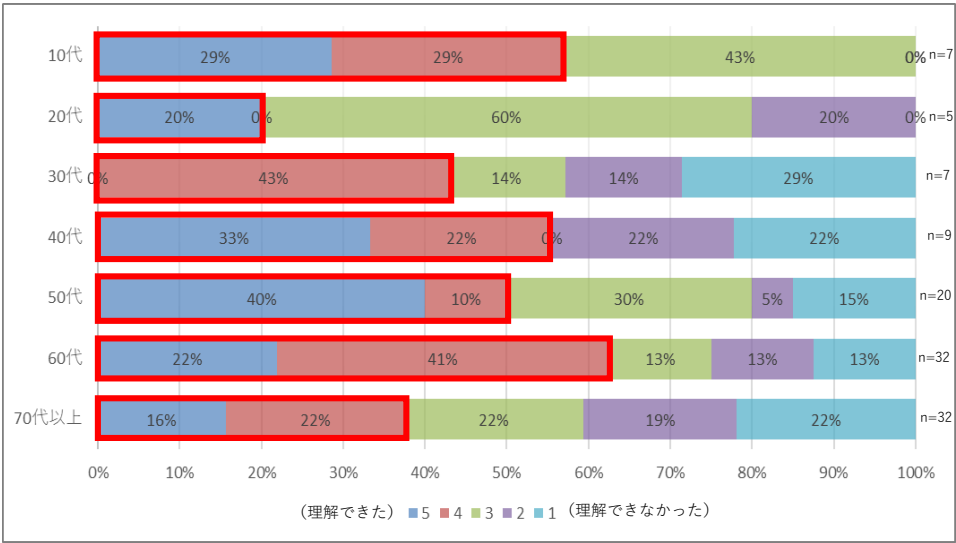
性別



18歳未満のこどもの有無



年齢



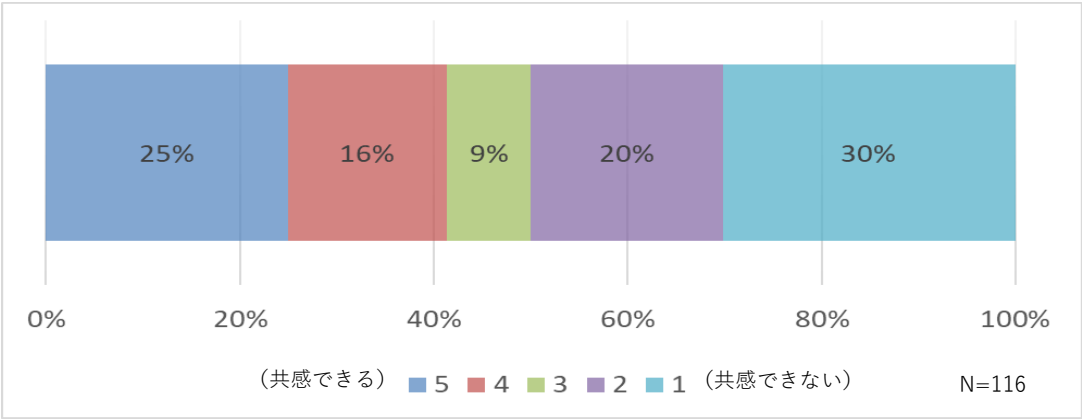
※ 40代以下はサンプル数が少ないことに留意

- 「理解できた」「やや理解できた」と回答した人が48%、「理解できなかった」「やや理解できなかった」と回答した人が30%だった。

3. アンケート結果

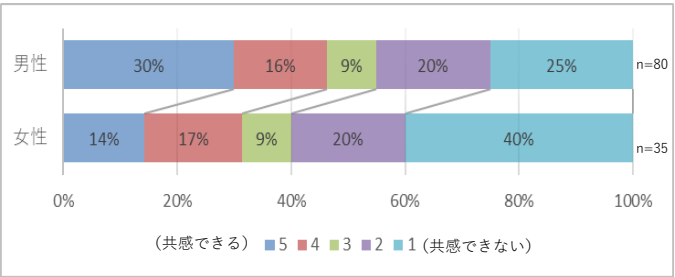
Q 5 .福山市が魅力的なまちとなるために、福山駅前広場を再整備することについて、どう思うか＝「共感度」

単純集計

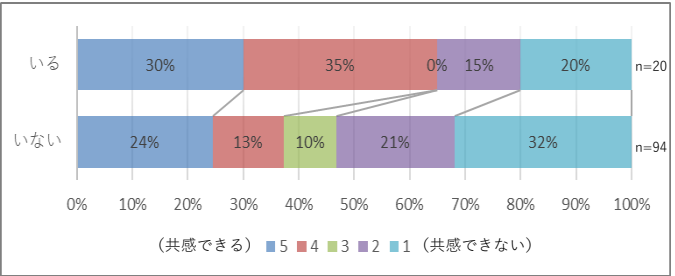


クロス集計

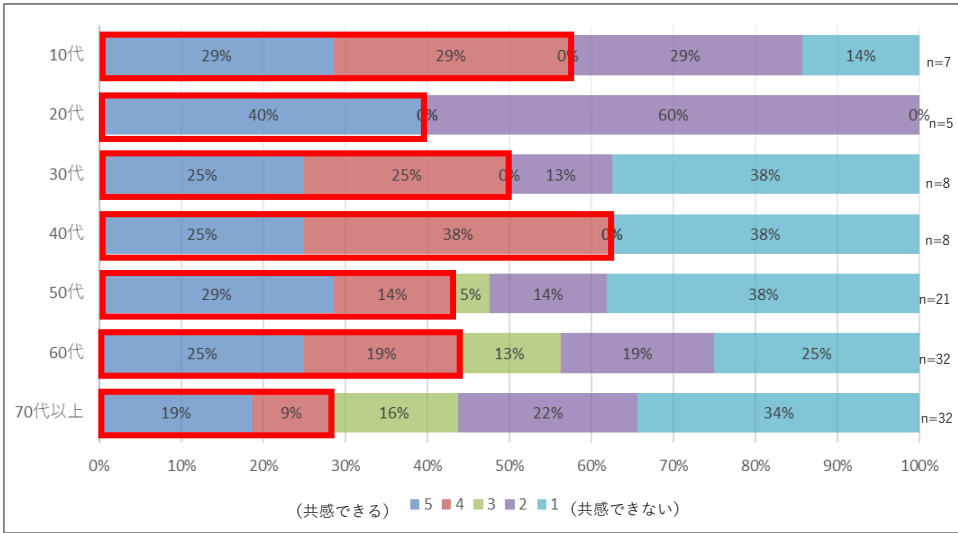
性別



18歳未満のこどもの有無



年齢



※ 40代以下はサンプル数が少ないことに留意

- 「共感できる」「やや共感できる」と回答した人が41%、「共感できない」「やや共感できない」と回答した人が50%だった。

3. アンケート結果

Q6.「福山市が魅力的なまちとなるために、福山駅前広場を再整備することについて、どう思うか」の回答理由 (自由記述)

「共感できる」「やや共感できる」と回答

都市の魅力

- 福山市の魅力を発信できる一丁目一番地
- 地域間競争に勝ち抜く一つの施策が駅前広場の整備
- 福山の印象、住みたい、行きたいと選ばれる町であるために、必要である
- 40万人超の町の他市の駅前と比べて、福山駅前を何とかしないと…と強く思う
- 何かしないと福山は魅力のない街になってしまう。バスターミナルと両立できれば駅前広場に賛成
など

市民参加

- 市民で話し合いをし、どんな福山駅前にしたいかを考え、再整備することが大切
- 「市民のみなさんと一緒に新しい広場を創り出す」には賛同
など

人の集まり

- 駅前が賑やかになると良い
- 今の駅前は人の居場所というより交通のためのものとなっているので
- 交通結節機能を確保したうえで、交流の場を設ける。回遊性を確保して、駅前の顔をつくるという理念自体は素晴らしいと思うから
など

交通について

- 広場はあって良いだろうが、交通アクセスを確保すること
- 駅前の福山の顔となるスペースに、バスターミナルとタクシー乗り場のみはもったいないし、豊かさを感じない
- 現状では交通結節機能がダメだ。利用する人の目線になっていないので再整備は必要
など

「共感できない」「やや共感できない」と回答

広場の必要性

- 駅前広場が福山の魅力になると思えない
- 広場に緑や水を感じるのは、駅でなくてもできる。交通結節点として不便になる広場は必要ない。
- 広場が整備される事で市民の暮らしがよくなるとは思えない。市民が帰ってきたい町は中身（くらし）。見かけだけつくろってもこどもは帰って来ない
など

交通について

- 福山駅には交通結節機能が最重要
- 駅は交通の要所であり、遊び場は二次的なものである
など

市民参加

- 高齢者の意見だけでなく、若者の意見を取り入れることが重要
- 人々の声が大切
など

計画への疑問

- 計画が不十分
- 税金を使ってわざわざ広場やバスターミナルの移設は不要。何のための、誰のための整備なのか
- 現在の福山駅南側はバスターミナルなど大改修をして、10年も経っていない
など

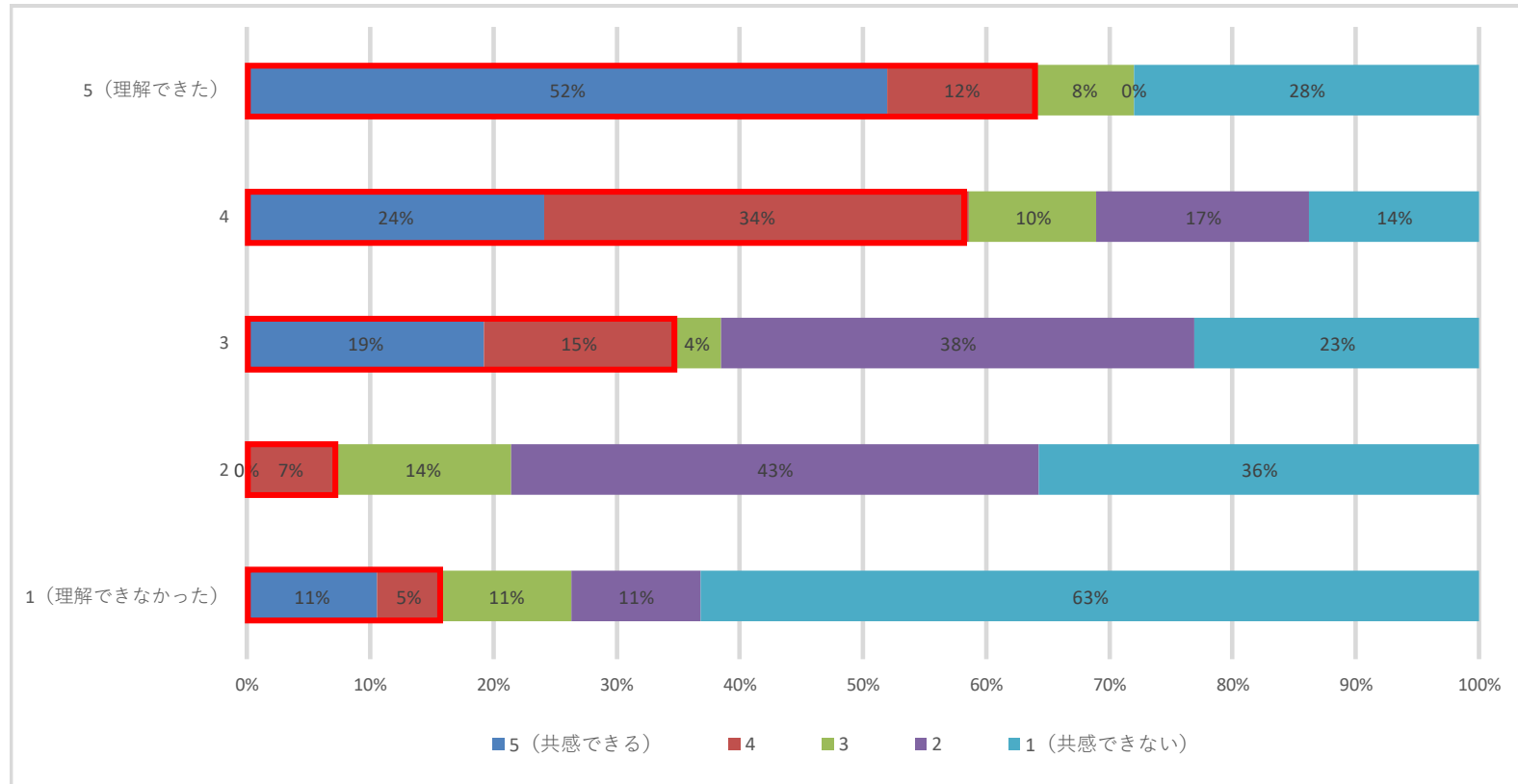
その他

- JR福山駅の建替のタイミングで良いのではないのか
- 税金の無駄使いをゆるしてはいけません
- 一部が魅力的になってもしかたない
- 今の北口広場を充実させるべき。屋根、ベンチ
- 再整備後の活用の具体性がないため
など

3. アンケート結果

Q4 (市からの説明や質疑応答の内容が理解できたか＝「理解度」)と

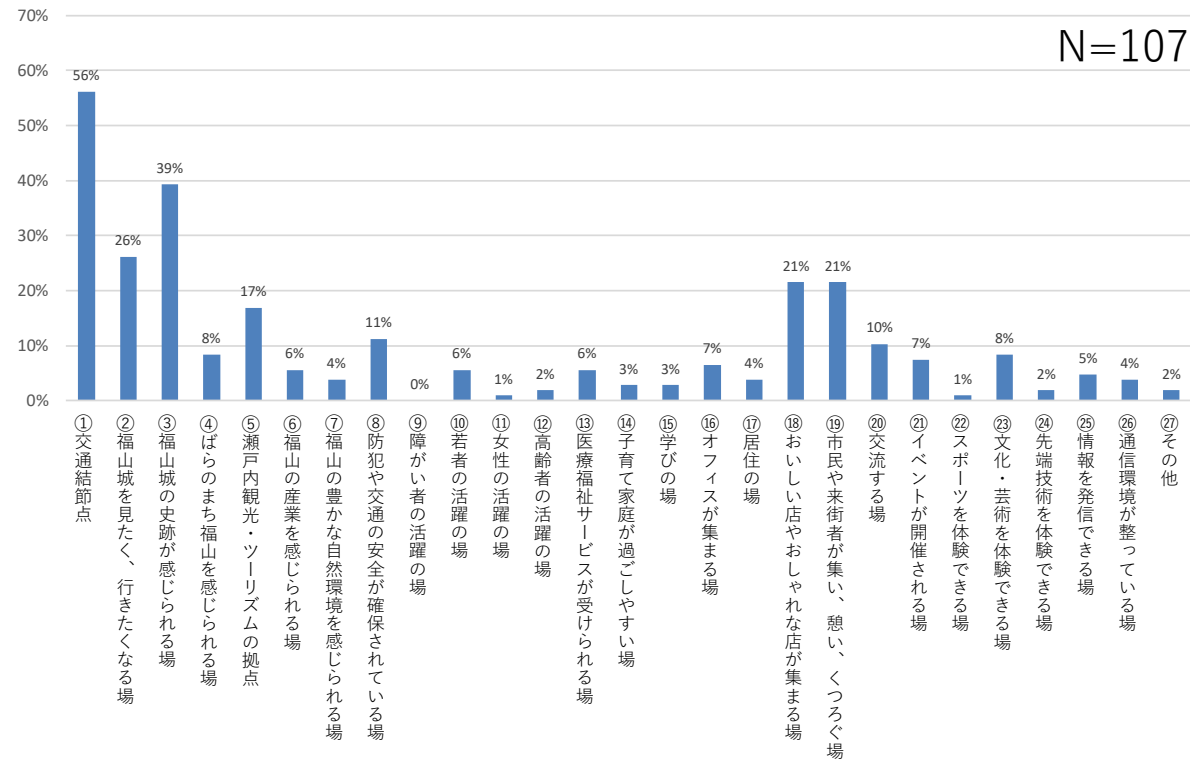
Q5 (福山市が魅力的なまちとなるために、福山駅前広場を再整備することについて、どう思うか＝「共感度」)のクロス集計



- 「理解できた」を回答した人は、「共感できる」と回答する人が多く、
- 「理解できなかった」を回答した人は、「共感できない」と回答する人が多い傾向が見られる。
- そのため、引き続き丁寧な説明が必要。

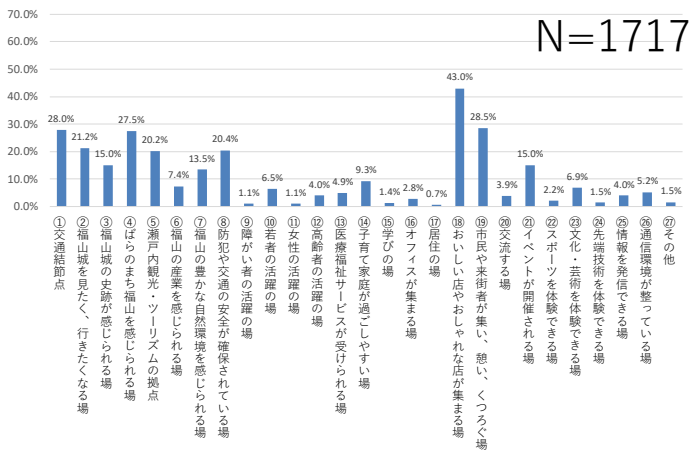
3. アンケート結果

Q7.あなたが備後圏域の玄関口としてふさわしいと思う駅周辺とはどんな場所ですか。3つ選んでください。



※選択数が異なる回答は除く

《参考》2020年に無作為抽出で市民4,000人を対象に行ったアンケート



- 「交通結節点(56%)」が最も多く、次いで「福山城の史跡が感じられる場(39%)」、「福山城を見たく、行きたくなる場(26%)」が多かった。

3. アンケート結果

Q8. その他、ご意見やご提案があれば教えてください。（自由記入）

自由意見（一部）

- 結局10年後にできる計画ということなので、できれば小中学生の意見を広く聞いてほしい。今、彼らが使いたいと思う駅前が大事。自分が関わった駅前に愛着を持ち、将来福山に住みたい、福山に戻りたいと思ってくれるのではないか。（40代女性）
- 議論・予算等かなり不明瞭で、もっと意見を反映してほしいと思った。実証実験の250人アンケート、それは空間があったら良いと答えるだろう。市民のガス抜き場だけで終わらず、駅前から福山市のあるべき姿を語りたかった。（30代男性）
- 福山駅前広場はいらない。今のままがいいと思っている人はたくさん居ます。今まで聞かなかったとは、いかに福山市民の声を聞いていないかの象徴です。（70代以上女性）
- これが対話集会なのか？個々の思いが強く感じてむずかしい。もっと話し合いがしたいと感じた。治安が悪化しているという意見（要望）は重要な課題だと思う。（60代男性）
- 建設的な議論の場がないと感じた。そして、反対派の声が大きく、グループ内での意見交流が満足に行われていない状況にあった。反対派の声は大きいですが、若者の間では賛成派が多数であり、それを踏まえて開発を進めてほしい。これまでの再開発事業の二の舞にならないようにしてほしい。（10代男性）

4. 市民対話集会のとりまとめ

今回の市民対話集会は、計画の賛否を問うものではなく、再整備の目的や議論経過を説明し、多様な意見を聴くために行った。

参加者の属性について

- アンケート結果によると、
性別が男性 70 %、女性 30 %（福山市内の人口構成は、男性 49 %、女性 51 %）
年齢は 40 代以下が 25 %（福山市内の人口構成は、40 代以下が 50 %）

→福山市内の人口構成と比べて、参加者属性に偏りが見られた。特に今回参加が少なかった女性や若い世代の意見はヒロバラボなどを通じて、意見を聴いていく

駅前広場再整備の理解について

- アンケートでは、市からの説明や質疑応答の内容が「理解できた」「やや理解できた」が 48 %、「理解できなかった」「やや理解できなかった」が 30 %
- 福山が魅力的なまちとなるために、駅前を再整備することについて、「共感できる・やや共感できる」と回答した人が 41 %、「共感できない・やや共感できない」と回答した人が 50 %

→半数程度は理解いただけたが、理解できなかった方が一定数いることから、引き続き丁寧な説明が必要

意見について

- 付箋に各自の考えを記載いただくことで、多くの方から意見を得ることができた
- 疑問や意見については、1つ1つ答えていくことが必要

→より多くの市民、より多様な団体などから意見を聴いていくことが必要